

## 第1回 八王子ユースシアターの活動を調査！

ミライの  
BUNKA  
研究室

若者たちの活動を研究するコーナー！

HACHIOJI  
YOUTH  
THEATRE

八王子ユースシアター2021は、学生たちが学校の枠を超えて互いに刺激し合える演劇プロジェクト。出演団体を全国から募り、公演までの過程をオンライン上で公開するのが特徴です。また、大学生を対象に公募した「学生マネージャー（通称：学マネ）」が、各劇団に1人付いて、それぞれのPRを担当。演劇をつくり上げる過程を間近で見て、それをレポートしブログ等で発信する、重要な役割を担いました。今回は、2021年夏から冬にかけて奮闘した“学マネ”たちと、ディレクターの小堀陽平さんの座談会より、一部をご紹介します！

創価大学  
原口友歌

小堀 私たちは何事も与えられる教育に慣れてしまっているからね。先生がもっている答えを探す。探し出せることが「わかること」と刷り込まれてしまっているようなところがある。それ

まずは白崎さん、5月の八王子公演はどんな公演になりそうでしょうか？

白崎 「和〜るど」の和は和風の和。日本には色々な面白い風が吹く要素があると思います。そんな日本の民謡が中心となり、色々な国やジャンルが混ぜこぜになった音楽です。もともとやっていたバンド、上々颱風（シャンシヤンティーン）でも「日本には色々な風が吹いてくる」という意味を込めていました。今回の公演も、東北6県ろるショーだけでなく、色々な方が一緒に出てくれます。（コロナ禍で）二回も延期になって、とっても悔しい思いをしたので、八王子の皆さんに会えるのを楽しみにしています。

白崎さんと八王子生活館さんはこれまで多くの交流があったそうですが、特に思い出深い出来事はありますか？

土居 お付き合いのある養護学校の寄宿舎の夏祭りに皆で遊びに行った時に、ライブをしていた上々颱風の皆さんと初めて出会って、ファンになって他のライブにも行くようになったんです。白崎 初めて会った時はお庭でライブをしていたんですが、側転しながら楽しんでくれたり、一緒に歌ってくれたり・・・自由な感じで楽しんできた

ユースシアターに携わって、どうでしたか？

甲斐 参加する前、演劇はあまり観に行かなかったのですが、それは、演劇を観たらそこにある「答え」を探さなきゃいけないものだと思っていたからです。でも、答えは必ずしも一つではなく、「自身の考えを持つて良いんだ」と知ることができたのが、一番良かったです。

中央大学  
中村ひかる

が演劇にも反映して、どういう意図を汲み取ればいいのか、何を感じるのがよいのか、となってしまう。でも実際は、一つの場面でも仕事でも、私はこういう風に思った、こういう見解をもった、というのが良いんだよね。作り手は作り手として、「こういうことを考えてつくった」というのはもちろんある。かといって、観た人が作り手の意図の通りに理解することだけが「わかること」ではなくて、それぞれの受け取り方や「わかり方」があつていい。その瞬間のパフォーマンスとか、そこで立ちあがったイメージを、観た人と共有することが大事なことでと思います。

一つの公演がつけられる過程を見ていく中で、何か気づいたことや思ったことはありますか？

影山 私の担当した千蔵（せんまや）高校の演劇部は、今回の公演はトークセッションをもとにして自分たちで台本をつくっていました。トークセッションは、部員各々が話を聞いてみたい人を連れてきて気になっていることを聞く、というものであったのですが、人の人生ってこんなに劇的なんだと感動しました。人の人生の中に演劇作品は沢山詰まっている。それがま

明治大学  
影山千遥中央大学  
甲斐千尋

出演団体「但馬旅人生活拠点」の公演で、初めて俳優・スタッフと対面した「学マネ」甲斐さん。2回公演の合間に、次の公演が控えているにもかかわらず笑顔で歓迎してくれました。

最後に、参加して良かったなと思う事はありますか？

原口 当初は目的もありなくて、ただただ勢いで参加しました。でも、実際にやってみて、今まで自分が見てきた以上の広い世界を見ることができました。これまで、本や机上で勉強することしかありませんでしたが、このユースシアターに参加して、人とのコミュニケーションを通して学ぶこと、成長することができたかなと思います。



## コガスゴイ

観客と劇団を繋ぐ「学マネ」の成長に注目…！

“学マネ”たちは、全員が演劇に関心が高かったわけではなく、「なんとなくやってみようかな」と参加した人も。PRを担当したことによって、魅力を伝えるため真剣に悩み、考え、自然と劇団や演劇作品に詳しくなっていく面白い仕組みができていました。

議論を重ねながら作品をつくる過程に立会い、徐々に固定概念から解放されていった“学マネ”たち。演劇を通して、考え方の多様さ、解釈が無限にあることの面白さを知っていく…ユースシアターは、人生の価値観が変わるような、素敵な体験ができるプロジェクト！今後の活動にも、どうぞ期待です！

学マネの活動レポートは、「八王子ユースシアター」ホームページで公開中➡



公演直前インタビュー！

白崎映美  
×  
八王子生活館Pick Up  
ピックアップ

注目のイベントを深堀り！

コロナ禍による2度の延期を経て、来る5月によりやく実現することとなった「和〜るど・ミュージック祭り!!!」。出演者の白崎映美さんは、八王子に縁が深く、手織・フェルト・紙すきなどの作品制作を行う福祉事業所「八王子生活館」の皆さんとは、10数年以上のお付き合いになるとのこと。今回はオンラインで、白崎さん、「八王子生活館」の皆さんと事務局長の土居幸仁さんに、それぞれの作品・表現に対する思い等をうかがいました。



平成27年に、舞台衣装とメイクを施して記念撮影した白崎映美さん(中央)と八王子生活館の皆さん(右・左)

白崎 映美 (しらさき えみ)

歌手。山形県酒田市出身。1990年にデビューした上々颱風（※活動休止中）のヴォーカリストとして活躍。八王子等を舞台にしたスタジオジブリ「平成狸合戦ぽんぽこ」の主題歌も歌っている。現在ソロ活動の傍ら、自身のバンド「白崎映美&東北6県ろるショー!!!」を率いて、ロック、ジャズ、歌謡、民謡などを混ぜ合わせた雑食性に、東北の土着感満載のサウンドが加わったエンターテインメント性の高い熱いステージを展開。

ろから自分で決めるなど、「こんなをつくりたい」という気持ちを大事にしています。まさに「一期一会」、世界でたった一つの作品。メンバーが「自分らしさ」を表現できればと思って、私たちはお手伝いをしています。

まさに白崎さんたちと通じますね。バンドの皆さんの表現で大切にしていることはありますか？

白崎 東日本大震災をきっかけにバンドをつくらうと思ったとき、東北出身の人だけを集めようとしていたら、打楽器マンバの山口ともさんに「東京出身だけど、東京から東北を想うんじゃダメなのか」と言われて目からうろたえて。「排他的な集団をつくるどころだった」とハッとして、そこから色々な人を誘いました。音楽の好みや種類など、まさに多国籍・多様性で、だからこそ面白いアイディアが出たり、面白い音が出たり。それをお届けするというのが、私たちの特色でもあります。八王子生活館の皆さんも、色々な人がいて助け合ったりしながら過ごしています。色々な人がいるから面白いっていうところが、同じかもしれないですね。

土居 誰も排除しない、誰も取り残さないということが、大切ですね。

最後に、白崎さんから八王子の公演を楽しみにしている皆様へ、メッセージをお願いします。

白崎 八王子って、私にとってはすごく「嬉しい」街、「親しい」街です。5月に皆さんに会えるのを楽しみにしています。また、これからも仲良くして欲しいな。色々な所で繋がって、楽しいこと、嬉しいこと・面白いことをみんなで行っていきたいなと思っています。



白崎さん(左)、八王子生活館の皆さん(中央)、土居さん(右)とのオンライン対談。まるで家族のような空気にほっこり。「風邪を引かないようにね〜」と白崎さんに気遣う事業所の皆さんに「白崎さんたちの音楽の魅力は？」と聞くと、「ノリのいいところ」と教えていただきました！

日本の魂で世界と繋がる  
『和〜るど・ミュージック祭り!!!』

民謡や盆踊りなどの日本の伝統を世界の音楽と融合させる、かつてないコンセプトの和〜るど・ミュージックコンサート！

5/28(土) 16:00開演 いちようホール大ホール 全席指定

【入場料】友の会 ¥2,700 一般 ¥3,000 未就学児入場不可

【出演】白崎映美&amp;東北6県ろるショー!!

フレディ塚本(ヴォーカル)&amp;田中克海(ギター) from 民謡クルセイダーズ、大熊ワタル(クラリネット他)&amp;こぐれみわぞう(ヴォーカル・打楽器) from シカラムータ/ジントラムータ、Nourah(エキゾ盆踊り)

【曲目】会津磐梯山、八木節、まづろわぬめ ほか